

目 次

解説編

序 章	概説	1
第1章	一般事項（適用範囲）	7
第2章	コンクリートの材料（告示第1）	17
第3章	緊張材の定着及び接合並びに鉄筋の定着及び継手（告示第2）	19
第4章	緊張材の防錆及びグラウト（告示第3）	21
第5章	コンクリートの強度（告示第4）	27
第6章	コンクリートの養生（告示第5）	31
第7章	プレストレスの導入（告示第6）	33
第8章	型わく及び支柱の除去（告示第7）	35
第9章	柱に関する仕様規定（告示第8）	37
第10章	床版に関する仕様規定（告示第9）	41
第11章	はりに関する仕様規定（告示第10）	43
第12章	耐力壁に関する仕様規定（告示第11）	47
第13章	緊張材及び鉄筋のかぶり厚さ（告示第12）	49
第14章	長期荷重の組合わせに対する設計，および一次設計（告示第13）	53
第15章	層間変形角の確認，もしくはルート1の設計（告示第14）	61
第16章	剛性率，偏心率の確認とルート2の設計，もしくはルート3aの設計（告示第15）	67
第17章	保有水平耐力の確認（ルート3bの設計）（告示第16）	81
第18章	屋根ふき材等の構造計算（告示第17）	87
第19章	限界耐力計算（告示第18）	89
第20章	構造計算を行った場合にも遵守すべき規定（告示第19）	99
第21章	構造計算によって適用を除外できる仕様規定（告示第20）	101
第22章	緊張材の品質（平成12年建設省告示第1446号）	103
第23章	緊張材の許容応力度（平成13年国土交通省告示第1024号）	109
第24章	緊張材の材料強度（平成13年国土交通省告示第1024号）	115

付録

付録1	鉄筋コンクリート構造として取り扱う場合の確認事項	117
付録2	プレストレストコンクリート造部材の力学モデルに関する技術資料	119
付録3	グラウト施工に関する注意点	145
付録4	緊張材の定着装置及び接合具の試験方法	149

設計例

設計例 1	場所打ちプレストレストコンクリート造 3階建精密機械工場	159
	(終局強度設計)	
設計例 2	プレキャストプレストレストコンクリート造 4階建事務所	195
	(保有水平耐力計算)	
設計例 3	プレキャストプレストレストコンクリート造 11階建事務所	229
	(限界耐力計算)	
設計例 4	プレストレスト鉄筋コンクリート造 (PRC) 5階建事務所	289
	(限界耐力計算)	